

親でも先生でもない大人

岡山県立岡山大安寺中等教育学校 2年 藤原 維織



あなたは、親でも先生でもない大人と、話したことがありますか。

中学校に入学して二年目。私には、毎朝大きな挨拶を交わす地域のおじいさんがいます。そのおじいさんは、私に大きな力をくれました。

中学一年生の夏、学校にも慣れてテストも終わって、夏の暑さが激しくなってきた頃、私は学校に行くのが段々と憂鬱になってきていました。勉強が難しい。部活が忙しい。課題が多い。明日にはレポート提出。毎日私の前にはいろんな壁が現れ続け、突破するとまた新しい壁、新しい壁と心にも壁が立ち続けているようでした。

ある日の下校中、どこかが重苦しかった私は一人、電柱にもたれかかりました。しばらくぼーっとしていると、

「お嬢ちゃん、今日はどうしたん。えろう元気がないのう。」
いつも挨拶をしていた地域のおじいさんでした。

「最近、ちょっと疲れてて。」
気づけば私はぽつり、ぽつりとおじいさんに悩みを打ち明けていました。

「学生さんは忙しいのう。しかしそれも青春じゃ。」
おじいさんは親身に話を聞いてくれました。

そしてふとどこかへ行ったと思うと、

「ほれ、夏みかん。うちの畑で育てとるんで。でえれえ立派じゃろ。
お前さんも悩みはたくさんあるじゃろうけどな、いずれそれもこの
夏みかんみたいにぜーんぶ実になるんよ。実に。」

にっこりと大きく笑いながら渡してくれた夏みかん。ずっしりとした重さを感じました。

家へ帰るとさっそくみかんをむいて、ヨーグルトと混ぜて食べました。
おいしかった。自然と涙が出てきた。ぽろ、ぽろ。

それからずっと、考えました。

「ぜーんぶ実になるんよ。実に。」

今、私はおじいさんの言葉があったから頑張っています。おじいさんの言葉を励みにしています。たくさんたくさん悩んだけれど、全部ぜーんぶ実にするんです。

もう一度聞きます。

あなたは、親でも先生でもない大人と話したことがありますか。

少年非行の背景には、家庭環境や学校環境、その人の性格などの大き

なものもあれば、ちょっとした悪ふざけの気持ちなど、とても小さいものもあります。そんな大きかったり小さかったりする問題を解決できるきっかけをくれるのは、どのようなことなのでしょう。私は周りにいる大人だと思うのです。

少年の非行は、起きてから対策をするのでは遅い。

それを未然に防ぐには、大人とつながり、そして大人に力をもらうことが重要です。

人それぞれの環境をまるごと何かの力で変えていくことは、何億人もいるこの世界ではきっと難しいことだと思います。しかし身近な大人と少しつながりを持つことで、思いとどまったりもう少し頑張れたりするのが私たち未成年ではないのでしょうか。大人とのちょっとした接点が、大きな転機になることもあるのです。

あなたも今日、地域の方に声をかけてみませんか。

何気ない会話、悩み事の相談、挨拶でも構いません。

勇気を出して、一歩を踏み出してみる。そして、少年の非行を未然に防いでみませんか。